

事業年度	平成26年度		
事業名	八寸権現山整備事業		
事業実施主体	八寸の会	市町村名	伊勢崎市
事業成果	八寸の会自然環境等を学び伝えて行くことを通じて、地域の連携や活性化につなげるための森林整備事業。「苗木購入」では、既存林の種子による育苗作業及び植栽の実施した。		
整備面積	1.9ha(サクラ)	事業費(県民税)	170,000円 (170,000円)

植栽前



植栽作業の状況



植栽されたサクラ



現況



# 荒廃した里山・平地林の整備（粉碎機、刈払機の購入）実施報告

平成26年度

## 【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	刈払機、粉碎機の購入
補助率	補助率3/4以内 (ただし、刈払機は1台当たり上限50千円、粉碎機は1台当たり上限2,800千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村が刈払機、粉碎機を購入・保守管理し、貸与規定を整備して、市町村提案型事業に取り組む地域の団体等へ貸与し、地域の取り組みを支援する。

### 【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	11	5	6
台数	30	16	14
事業費	39,745,060	14,590,000	25,155,060
うち県民基金	28,669,500	10,892,500	17,777,000

※台数は、刈払機と粉碎機を合わせた台数

### 【事業の廃止等】

区分	合計	1次	2次

### 【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	11	5	6
台数	32	17	15
《決算額》			
事業費	33,132,390	13,350,740	19,781,650
県民基金	24,773,845	10,011,785	14,762,060

※台数は、刈払機と粉碎機を合わせた台数

### 【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

## 【平成26年度の実績】

24,774千円

- ・ 導入台数 粉碎機 15台 刈払機 17台 ( 11市町村 )

### 【成果】

- ・ 粉碎機の導入により、竹林整備により発生した伐採し竹の粉碎が可能になり、竹林整備の円滑化が図られた。

### 【課題・方向性】

- ・ 導入した粉碎機等の機器について、市町村が適切に管理できるよう指導に努める。
- ・ 導入した粉碎機等が市町村の貸出規定に基づき、円滑に利用されるよう指導に努める。

### 【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

### 【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 小型の粉碎機が導入されたことで、軽トラックにより現場搬入が可能となり、効果的に活用ができた。
- ・ 粉碎機の利用要望が重なり、十分な期間利用することができなかった。
- ・ 粉碎機の維持管理に係る経費を支援してほしい。

平成27年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	刈払機、粉碎機の購入
補助率	補助率3/4以内 (ただし、刈払機は1台当たり上限50千円、粉碎機は1台当たり上限2,800千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村が刈払機、粉碎機を購入・保守管理し、貸与規定を整備して、市町村提案型事業に取り組む地域の団体等へ貸与し、地域の取り組みを支援する。

【平成27年度の実績】

13,211千円

- ・ 導入台数 粉碎機 6台 粉碎機付属品1セット 刈払機 12台 (8市町村)

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	8	3	5
台数	18	4	14
事業費	22,221,120	3,454,920	18,766,200
うち県民基金	15,362,000	2,590,000	12,772,000

※台数は、刈払機と粉碎機を合わせた台数

【事業の廃止等】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	8	3	5
台数	18	4	14
《決算額》			
事業費	19,777,122	4,701,240	15,075,882
県民基金	13,211,000	3,525,000	9,686,000

※台数は、刈払機と粉碎機を合わせた台数

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 粉碎機の導入により、竹林整備により発生した伐採し竹の粉碎が可能になり、竹林整備の円滑化が図られた。

【課題・方向性】

- ・ 導入した粉碎機等の機器について、利用率が向上するよう指導に努める。
- ・ 導入した粉碎機等が市町村の貸出規定に基づき、円滑に利用されるよう指導に努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 伐採した竹をチップ化し、現地に敷くことで、雑草の抑制に役立っている。
- ・ 粉碎機の維持管理に係る経費(特に歯)を支援してほしい。

平成28年度

【◆事業概要◆】

事業区分	荒廃した里山・平地林の整備
細区分	刈払機、粉碎機の購入
補助率	補助率3/4以内 (ただし、刈払機は1台当たり上限50千円、粉碎機は1台当たり上限2,800千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村が刈払機、粉碎機を購入・保守管理し、貸与規定を整備して、市町村提案型事業に取り組む地域の団体等へ貸与し、地域の取り組みを支援する。

【平成28年度の実績】

4,095千円

- ・ 導入台数 粉碎機 3台 粉碎機付属品1セット 刈払機 0台 (3市町村)

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	3
台数	3
事業費	5,933,496
うち県民基金	4,450,000

※台数は、刈払機と粉碎機を合わせた台数

【事業の廃止等】

区分	合計

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	3
台数	3
《決算額》	
事業費	5,462,856
県民基金	4,095,000

※台数は、刈払機と粉碎機を合わせた台数

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 粉碎機の導入により、竹林整備で伐採した竹の粉碎が可能になり、竹林整備の円滑化が図られた。

【課題・方向性】

- ・ 導入した粉碎機等の機器について、利用率が向上するよう指導に努める。
- ・ 導入した粉碎機等が市町村の貸出規定に基づき、円滑に利用されるよう指導に努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

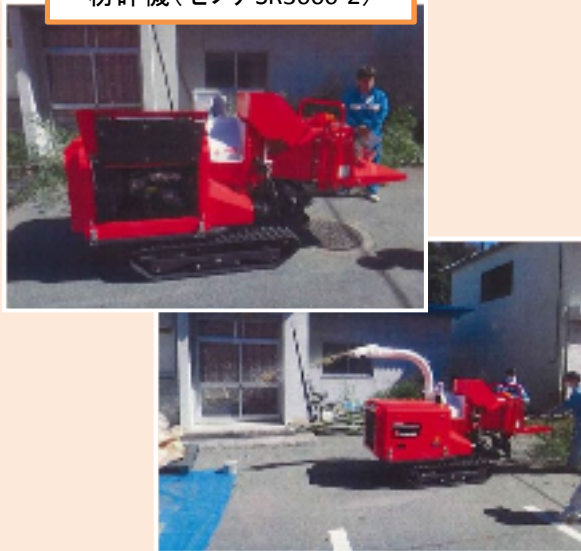
- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 伐採した竹をチップ化し、現地に敷くことで、雑草の抑制に役立っている。
- ・ 粉碎機の維持管理に係る経費(特に歯)を支援してほしい。

事業年度	平成26年度		
事業名	粉碎機導入事業		
事業実施主体	高崎市	市町村名	高崎市
事業成果	大型粉碎機1台(ゼノアSR3000-2)、小型粉碎機1台(オオハシGS122GB)を購入。 今後、購入した粉碎機を活用し、竹林整備を積極的に実施する。		
導入台数	2台	事業費(県民税)	3,896,640円 (2,922,000円)

粉碎機(ゼノアSR3000-2)



粉碎機(オオハシGS122GB)



事業年度	平成27年度		
事業名	林道稲合線周辺森林整備		
事業実施主体	甘楽町	市町村名	甘楽町
事業成果	刈払機10台を購入。 今後、購入した刈払機を活用し、森林・竹林整備を積極的に実施する。		
導入台数	刈払機 10台	事業費(県民税)	300,000円 (225,000円)



# 貴重な自然環境の保護・保全 実施報告

平成26年度

## 【◆事業概要◆】

事業区分	貴重な自然環境の保護・保全
細区分	活動支援・付帯施設整備
補助率	活動支援:1事業当たり上限500千円(ただし、継続して実施する場合、2年目以降は1事業当たり上限250千円とする) 付帯施設整備:補助率1/2以内(ただし、上限2,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村あるは地域住民・NPO・ボランティア団体等が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅種及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種(約650種)が生息している地域の保護・保全活動を支援する。

## 【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	6	2	4
採択箇所数	7	3	4
事業費	3,151,000	681,000	2,470,000
うち県民基金	2,051,000	581,000	1,470,000

## 【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

## 【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	6	2	4
実施箇所数	7	3	4
《決算額》			
事業費	3,119,529	678,901	2,440,628
県民基金	2,021,860	578,901	1,442,959

## 【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

## 【平成26年度の実績】

2,022千円

- ・ 取組件数 7事業 ( 6市町村 )
- ・ 対象となる貴重種 昆虫(蝶) ミヤマシジミ、ミヤマシロチョウ 植物 アサザ、カッコソウ、ノテンツキ

## 【成果】

- ・ 個別の貴重種の保全の取組だけでなく、保護活動に地域住民等が参加することにより、地域の自然環境の保護保全に対する意識の向上が図られた。

## 【課題・方向性】

- ・ 今年度保護・保全に取り組んだ貴重種以外本メニューの対象となる県動植物レッドリストに指定する希少種は約650種あり、本県において保全すべき種は数多くある。このため、今後、これらの種の保護・保全の取組について積極的に支援する。
- ・ 種の保護・保全に取り組む新たな団体を市町村と協力し育成・支援に努める。

## 【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

## 【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 市町村提案型事業はボランティアの活動支援が基本となっているが、今回、市の委託事業として実施することで貴重種の保護・保全活動に取り組むことができた。
- ・ 自然保護に取り組む団体の中には、活動体制が不十分な団体も少なくないため、これら団体の育成に関する支援をしてほしい。

平成27年度

【◆事業概要◆】

事業区分	貴重な自然環境の保護・保全
細区分	活動支援・付帯施設整備
補助率	活動支援：1事業当たり上限500千円(ただし、継続して実施する場合、2年目以降は1事業当たり上限250千円とする) 付帯施設整備：補助率1/2以内(ただし、上限2,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村あるは地域住民・NPO・ボランティア団体等が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅種及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種(約650種)が生息している地域の保護・保全活動を支援する。

【平成27年度の実績】

5,588千円

- ・ 取組件数 22事業 ( 10市町村 )
- ・ 対象となる貴重種 生物12種 ミヤマシジミ、ヤリタナゴほか 植物27種 アサザ、カッコソウ、ノテンツキ

【事業の採択状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	10	9	5
採択箇所数	22	13	9
事業費	7,454,000	5,375,800	2,078,200
うち県民基金	5,988,400	3,985,400	2,003,000

【事業の廃止】

区分	合計	1次	2次

【事業の実施状況】

区分	合計	1次	2次
市町村数	10	9	5
実施箇所数	22	13	9
《決算額》			
事業費	9,446,537	7,621,609	1,824,928
県民基金	5,588,000	3,850,000	1,738,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 個別の希少種の保全の取組だけでなく、保護活動に地域住民等が参加することにより、地域の自然環境の保護保全に対する意識の向上が図られた。

【課題・方向性】

- ・ 2012年に改訂された県レッドリストに指定される希少種は約650あり、今後、これらの種の保護・保全の取組について積極的に支援する。
- ・ 種の保護・保全に取り組む新たな団体を市町村と協力し育成・支援に努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 希少種を保護することは、人間の生活にも欠かせない生物多様性に貢献できる活動であり、今後も積極的に活動していきたい。
- ・ 自然保護に取り組む団体の中には、活動体制が不十分な団体も少なくないため、これら団体の育成に関する支援をしてほしい。

平成28年度

【◆事業概要◆】

事業区分	貴重な自然環境の保護・保全
細区分	活動支援・付帯施設整備
補助率	活動支援：1事業当たり上限500千円(ただし、継続して実施する場合、2年目以降は1事業当たり上限250千円とする) 付帯施設整備：補助率1/2以内(ただし、上限2,000千円とする)

基本方針	里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造
事業の目的	市町村あるは地域住民・NPO・ボランティア団体等が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅種及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種(約650種)が生息している地域の保護・保全活動を支援する。

【平成28年度の実績】

7,606千円

- ・ 取組件数 25事業 ( 12市町村 )
- ・ 対象となる貴重種 動物14種 ミヤマシジミ、ヤリタナゴほか 植物26種 アサザ、カッコソウ、ノテンツキ

【事業の採択状況】

区分	合計
市町村数	12
採択箇所数	25
事業費	12,258,449
うち県民基金	7,823,000

【事業の廃止】

区分	合計

【事業の実施状況】

区分	合計
市町村数	12
実施箇所数	25
《決算額》	
事業費	12,243,657
県民基金	7,606,000

【繰越状況】

区分	合計	1次	2次

【成果】

- ・ 個別の希少種の保全の取組だけでなく、保護活動に地域住民等が参加することにより、地域の自然環境の保護保全に対する意識の向上が図られた。

【課題・方向性】

- ・ 県レッドリストに指定される希少種は約650あり、今後、これらの種の保護・保全の取組について積極的に支援する。
- ・ 侵略的な外来種の増加が危惧されるため、貴重種の保護のためにも駆除活動に対して積極的に支援する。
- ・ 種の保護・保全に取り組む新たな団体を市町村と協力し育成・支援に努める。

【実施状況の評価(評価者:県)】

- ・ 採択された計画内容に基づき、適正に実施されており、概ね期待された成果が得られた。

【事業実施者・地域住民等からの意見】

- ・ 実際に保護活動を行う中で、若い人にも希少種保護についての理解が深まってきている。希少種保護は人間の生活にも欠かせない生物多様性に貢献できる活動であり、今後も積極的に活動していきたい。
- ・ 侵略的な外来種の繁殖が見られるようになってきたため、市民への侵略的な外来種に対する普及啓発が必要である。